

鹿児島県

特産品協会だより

新年ごあいさつ

理事長 伊藤祐一郎



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

我が国の景気については、昨年はじめから、個人消費や雇用情勢などが持ち直しつつあるとされておりますが、県内では、まだ実感できるまでには至っていない状況にあります。

私が知事として県政を担うにあたり掲げております「三つの挑戦」の一つに「産業おこしへの挑戦」がございます。そのうち本県の地場産業の振興については、鹿児島県の特性を生かした生活文化や食文化としての特産品に更なる創意と工夫を加え、より付加価値の高いものにして、県内外に、さらにはアジアを中心に世界に向けた売込みに取り組む必要があると考えております。

今年、十一月に伝統的工芸品の全国大会が本県で開催され、海外においても薩摩焼・パリ伝統美展（仮称）が開催されます。

また、来年、NHK大河ドラマ「篤姫」が放映され、平成二十二年度末には九州新幹線が全線開業となるなど、鹿児島が国内外に大きく注目される好機が訪れており、今こそ会員の皆様と力を合わせて、新たな決意を持って特産品の販路拡大を図ってまいりたいと考えております。皆様には、一層の御支援・御協力をお願い申し上げます。とともに、新年が、素晴らしい年となりますことを心から祈念いたします。

② いいものは必ず売れます

③ 読者だより

③ 物産観光展出展までの流れ

③ 平成19年主な物産観光展の開催予定

④ 流通最前線情報

④ 協会と手をつなぐ団体のご紹介

⑥ 元気印の仲間達

⑧ 連載 哲也製 正月前後物産館になるわがや

